

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市西部市民センター 4階屋上防水改修工事

1. 現場の状況

本施設は、支所機能、図書館機能等を併せ持つ複合施設です。工事期間中も通常通り業務を行っており、休日も市民の利用があります。

図書館の休館日は第三火曜日です。開館時間は月曜日から金曜日は午前10時～午後7時、土日祝日は午前10時～午後6時までです。

2. 留意事項

- ① 工事期間中は、第三者等の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ② 工事に伴う施設の利用は最小限にとどめてください。また、工事で既存建物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお、損傷を与えた場合は受注者負担により速やかに復旧してください。
- ③ 施設管理者と日程調整を密に行い、利用者や職員等への影響のないよう努めてください。
- ④ 揚動作業については、事前に監督員及び施設管理者と協議を行ってください。
- ⑤ 施設内の作業動線には適切な養生を行ってください。
- ⑥ 現場事務所の設置位置は、施設管理者及び監督員と協議してください。
- ⑦ 大型車両の乗り入れ、騒音・振動作業等は事前に監督員及び施設管理者と十分に協議を行ってください。工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は施設管理者、監督員と協議してください。
- ⑧ 仮設足場の設置場所及び期間については、事前に監督員及施設管理者と十分に協議を行ってください。
- ⑨ 休日及び時間外に作業を行う場合は、施設管理者及び監督員と事前に協議してください。
- ⑩ 実施工程表は、契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程は施設管理者及び監督員と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑪ 本工事の受注者は、地元企業又は地場製品の活用に努めてください。

3. 別途工事

なし

4. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る設計変更等

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めること。

(1) 「3つの密を避けるための手引き」の活用

各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示を行う。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin

(2) 「建設現場の「3つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用

各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知を図る。

・http://chotatsu.pref.hiroshima.jp/file/kakudaibousi_5.pdf

※各現場での対策事例については、TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。

例) 「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等

2 上述の1を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書(様式1)により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書(変更業務計画書)を提出する。 なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

3 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類(領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等)及び実績報告書(様式2)を監督員に提出する。

4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。

5 疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

【設計変更の対象とする対策に係る費用の例】

< 共通仮設費 >

○労働者宿舎での密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費

○現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料

※いずれも、その後の積算における現場管理费率や一般管理费率による計算の対象外とする。

< 現場管理費(業務においては直接経費) >

○現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用

○現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用

○テレビ会議等のための機材・通信費

※いずれも、その後の積算における一般管理費等率による計算の対象外とする。

このほかにも、感染拡大防止のために必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

5. 墜落制止用器具の着用について

1 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。

2 法定外の労災保険の付保について

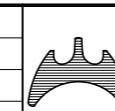
本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

福山市西部市民センター4階屋上防水改修工事

図 面 リ ス ト	
番号	図 面 名 称
A-00	表紙・図面タイトル
A-01	建築工事特記仕様書・附近見取図・配置図
A-02	4階平面図・立面図・断面図・断面詳細図

A2: 100%
A3: 71%

主務	課員	次長	課長補佐	室長課長	建築部長



建築工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 福山市西部市民センター4階屋上防水改修工事
 2. 工事場所 福山市松永町三丁目1番29号
 3. 工事概要 屋上防水改修工事 一式
対象建物：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 5階建
防水改修範囲：4階屋上
・なし
 4. 別途工事
 5. 自社施工を求める対象工種 ※本工事は、受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により、以下の工種を全て施工しなければならない。
 - ・防水工（仮設工事等付帯工事は除く。）
 - ・本工事の工期は、工事検査期間として14日間を含んでいる。
 - ・契約後14日以内に実施工程表を提出する。
- ※工期の設定
※工程表の提出

II. 建築工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「建築標準仕様書」という。）による。

- (1) 官公署手続き
受注者は関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは監督員の承諾後とする。）
- (2) 地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。
- (3) 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2. 一般共通事項

- (1) 適用基準等
建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版）
建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達
建築基準法、消防法、その他関係法令

- (2) 監理（主任）技術者
受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

- (3) 施工監理 [1.3.1] [1.1.5]
受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※施工体制台帳（建設業法等に従って作成し、写しを提出する。）
技術者台帳（施工体制台帳に添付）
監理技術者・主任技術者（下請を含む）及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。
※施工体系図（建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。）

- (4) 建築材料等
建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承諾を受ける。
また（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。
・本工事の施工に当たり、東洋ゴム化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、使用するまでに第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。

- (5) 特別な材料の工法
・建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当製品の指定工法による。

- (6) 発生材の処理 [1.3.12]
※再資源化を図るもの
・コンクリート ・木材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という）、「資源の有効な利用の促進に関する法律」（以下、「資源有効利用促進法」という）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下、「廃棄物処理法」という）その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。
※建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

	施工計画時	工事完了時
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。
なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

- (7) 工事及び完成写真
工事着手前・工事中及び完了時に撮影した写真、その他本工事が適正に施工されたことが確認できる写真をA4版に整理し1部提出する。

- (8) 騒音・振動の防止
低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。

- (9) 工事実績情報の登録 [1.1.4]
※受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。
登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金のみ変更の場合、登録不要）
※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要）

3. 仮設工事
(1) 工事現場仮囲い
(2) 監督員事務所 [2.4.1]
(3) 受注者事務所等 [2.4.1]
(4) 工事用水
(5) 工事用電力
(6) 安全対策

鋼板仮囲いH=2000（※足場への侵入防止対策を講じるものとする）
設けない
設けない
利用できない
利用できない
親綱設置
本工事は、交通誘導員として 5人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。
敷地内の工作物は、必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任に於いて復旧する。
※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

- (7) 足場その他 [2.2.1]

4. 防水改修工事

- (1) 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.1.4] [3.2.6] [3.5.1~4]

工法	種別	施工箇所	仕上種類	使用量	高日射反射率 防水の適用	備考
機械的固定工法	S-M2	4階屋上平場	※製造所の指定による		適用	脱気装置改修用ドレン設置
	S-M2	4階屋上立上り				

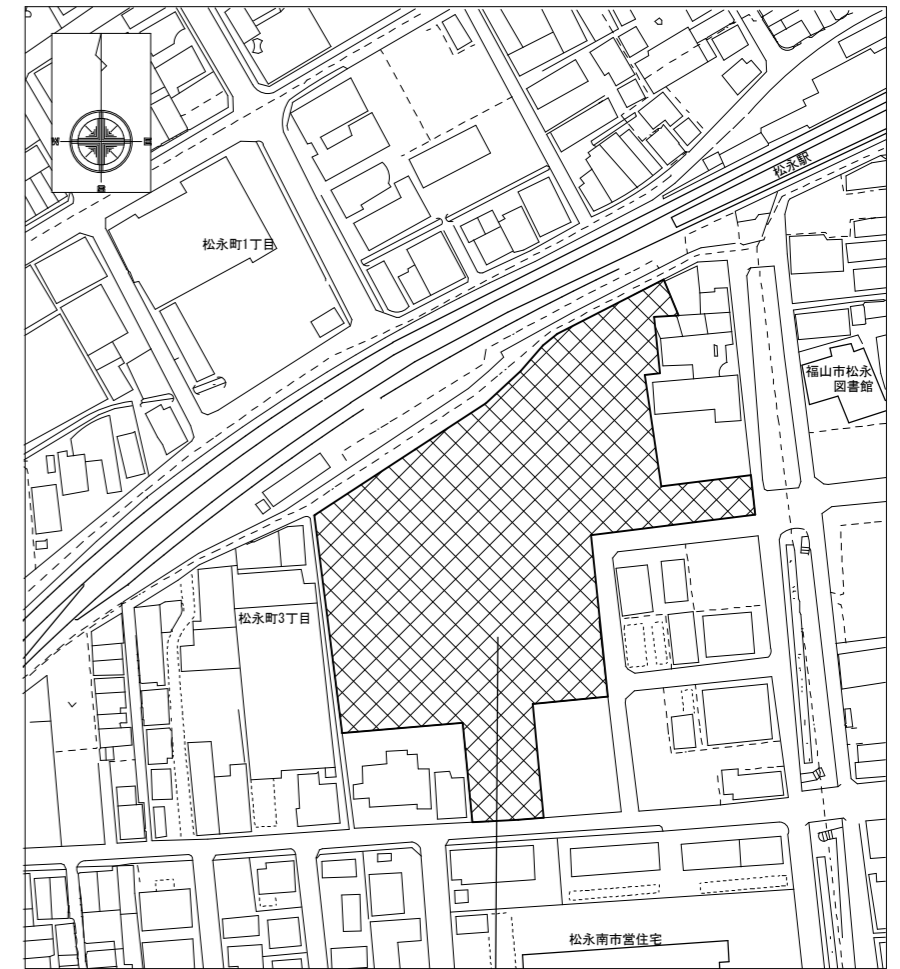
- (2) シーリング [3.1.4] [3.2.6] [3.7.2~7]
工法：シーリング再充填工法
施工箇所：伸縮目地
シーリングの種類：PU-2
シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3による

- (3) シーリング材の試験 [3.7.8]
接着性試験
簡易接着性試験

- (4) 保証書
・合成高分子系ルーフィングシート防水 10年

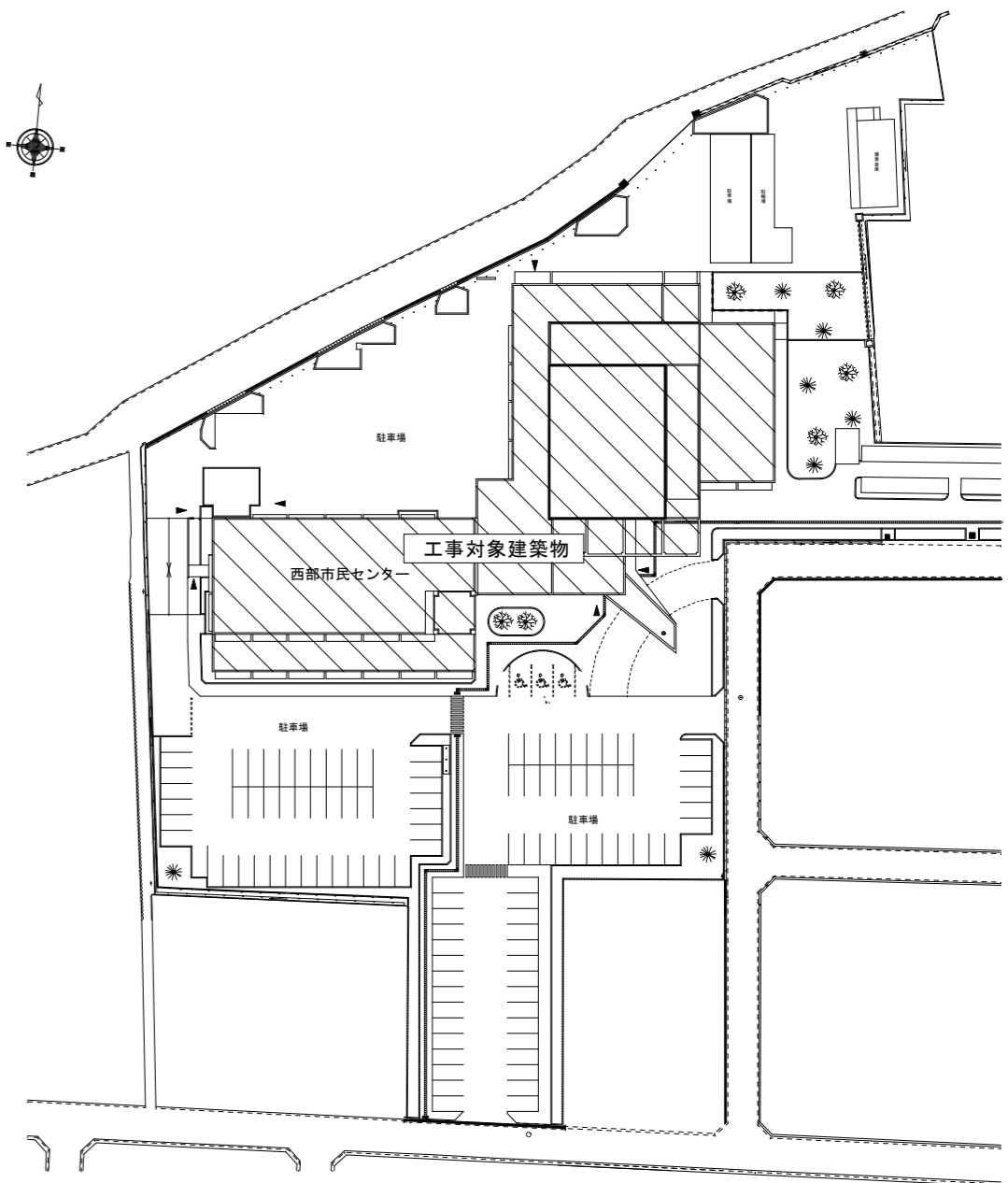
工事内容

改修範囲	既存仕上げ	改修内容
4階屋上	平場	コンクリート打ち放しの上 改質アスファルト防水(AS-J2改良) 断熱材t=25、絶縁シート 押さえコンクリートt=80
	立上り	コンクリート打ち放しの上 改質アスファルト防水(AS-J2改良) 断熱材t=25、絶縁シート



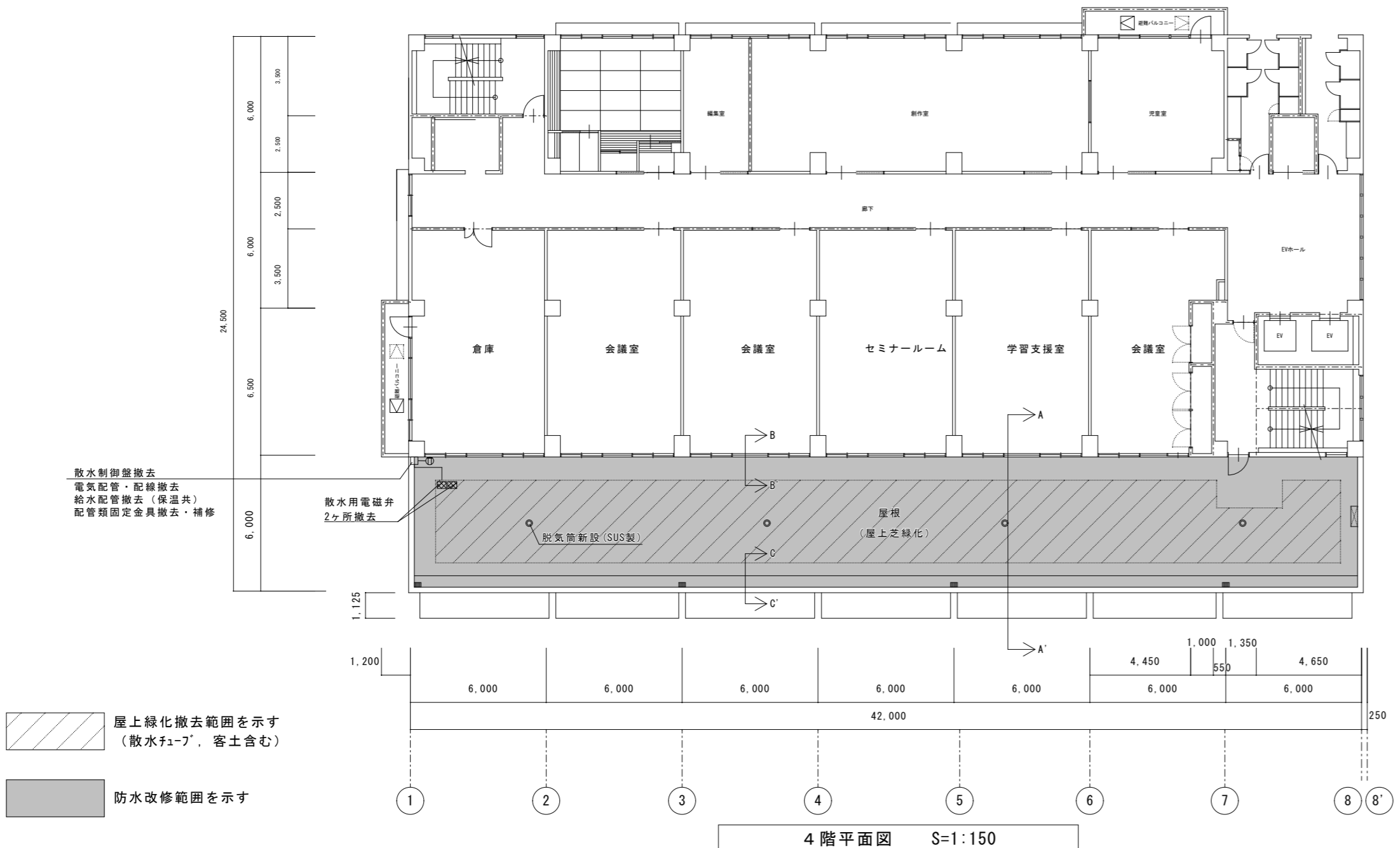
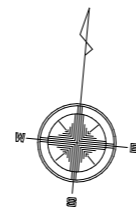
工事場所 福山市松永町三丁目1番29号

附近見取り図 No Scale

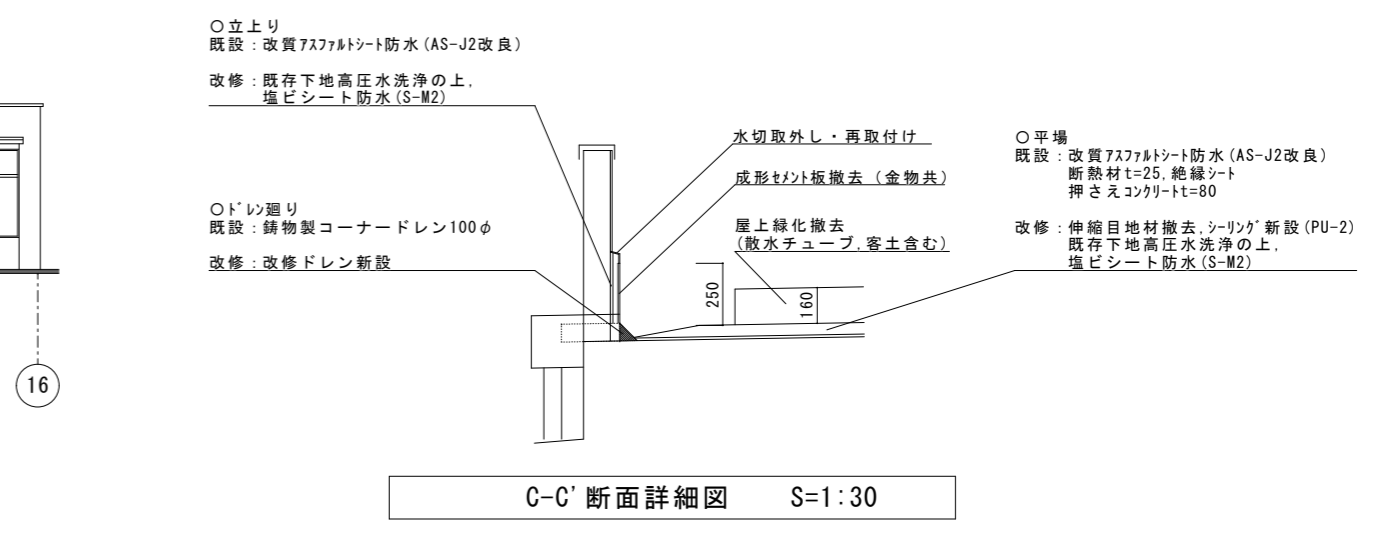
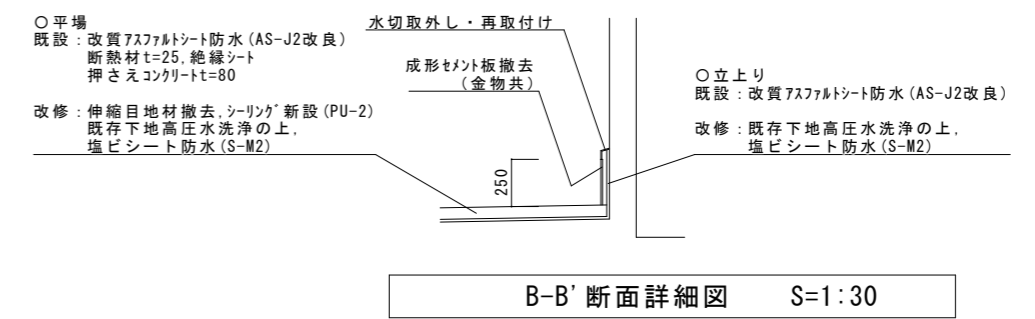
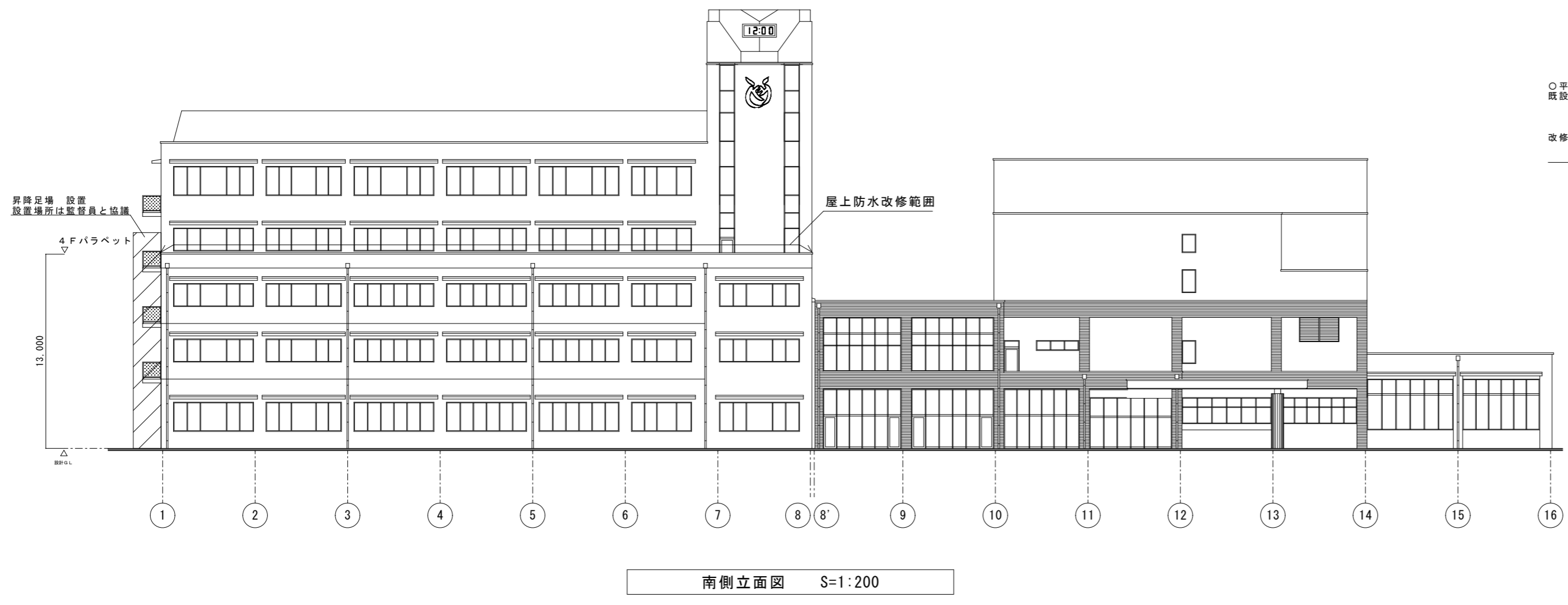
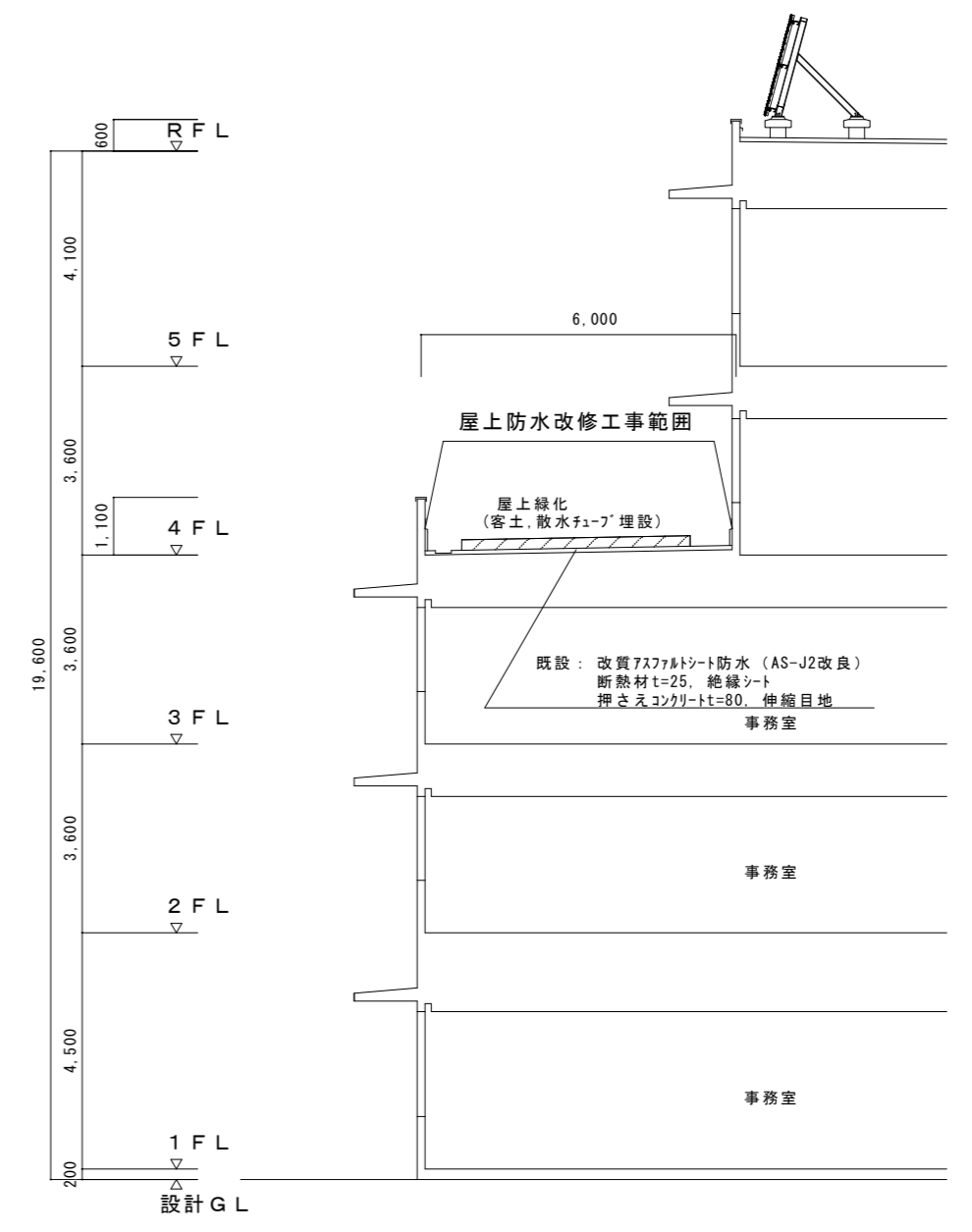


配置図 S=1:800

A2: 100%
A3: 71%



屋上緑化撤去範囲を示す
(散水チューブ、客土含む)
 防水改修範囲を示す



○平場
 既設：改質727ポリシート防水 (AS-J2改良)
 断熱材t=25、絶縁シート
 押さえコンクリートt=80
 改修：伸縮目地材撤去、シーリング新設 (PU-2)
 既存下地高圧水洗浄の上、
 塩ビシート防水 (S-M2)

水切取外し・再取付け
 成形セメント板撤去 (金物共)

○立上り
 既設：改質727ポリシート防水 (AS-J2改良)
 改修：既存下地高圧水洗浄の上、
 塩ビシート防水 (S-M2)

○立上り
 既設：改質727ポリシート防水 (AS-J2改良)
 改修：既存下地高圧水洗浄の上、
 塩ビシート防水 (S-M2)

○平場
 既設：改質727ポリシート防水 (AS-J2改良)
 断熱材t=25、絶縁シート
 押さえコンクリートt=80
 改修：伸縮目地材撤去、シーリング新設 (PU-2)
 既存下地高圧水洗浄の上、
 塩ビシート防水 (S-M2)

水切取外し・再取付け
 成形セメント板撤去 (金物共)
 屋上緑化撤去 (散水チューブ、客土含む)

○ドレン廻り
 既設：鋳物製コーナードレン100φ
 改修：改修ドレン新設

A2: 100%
A3: 71%

参考数量書

§ 工事名称 福山市西部市民センター 4階屋上防水改修工事

§ 工事場所 福山市松永町三丁目 1 番 2 9 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市西部市民センター4階屋上防水改修工事

工事場所 福山市松永町三丁目1番29号

【工事概要】
屋上防水改修工事・・・一式

対象建物 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 5階建
延べ面積 8,768㎡

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築主体工事	1	式		
計				

建築主体工事									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
防水改修		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

建築主体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	4階屋上	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

建築主体工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
外部足場		1	式			別紙 00-0003
災害防止		1	式			別紙 00-0004
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0005
墜落制止用器具費		1	式			別紙 00-0006
親網設置		1	式			
計						

建築主体工事		防水改修		4階屋上		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存立上パネル撤去	成形セメント板t=15 H=250 金物含む 集積共	24	m ²			
アルミ水切取外し・再取付		96	m			
伸縮目地材撤去		222	m			
伸縮目地シーリング*	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 25×10	222	m			
既設屋上緑化撤去	客土, 散水スプレッシャー含む 処分費別途	1	式			
電磁弁撤去	2ヶ所 散水スプレッシャー用	1	式			
高圧水洗浄	加圧力 10～15MPa	276	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 (高反射タイプ)	S-M2 機械固定工法 厚1.5mm 平場 高反射タイプ	252	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 (高反射タイプ)	S-M2 機械固定工法 厚1.5mm 立上り 高反射タイプ	24	m ²			
SUS脱気筒	固定金物共 材工共	4	か所			
改修用ドレン	φ100 横型 キャップ共	4	か所			
計						

建築主体工事		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	一般	1	式			
発生材運搬	無筋コンクリート(セメント板)	0.4	m3			
発生材運搬	木材	19	m3			
発生残土運搬	客土	30	m3			
発生材運搬	一般	0.1	t			
発生材処理	無筋コンクリート(セメント板)	0.4	m3			
発生材処理	木材	19	m3			
発生残土処理	客土	30	m3			
発生材処理	一般	0.1	t			
計						

建築主体工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	252	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	252	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	93.6	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 供用30日賃料 修理費含む 22m未満 - -	93.6	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 22m未満 - -	93.6	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	10.8	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用30日賃料 修理費含む -	10.8	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	10.8	m			
計						

建築主体工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
災害防止		1	式			別紙 00-0004
ネット状養生シート張り	防災I類 掛払い手間 - -	140	m ²			
ネット状養生シート張り	防災I類 供用1日賃料 修理費含む - 30日	140	m ²			
ネット状養生シート張り	防災I類 基本料 修理費含む - -	140	m ²			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0005
仮設材運搬 (桝組本足場) (手すり先行方式)	建桝幅900(二枚布)	93.6	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	桝組本足場用(手すり先行方式)	10.8	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		140	m ²			
計						
墜落制止用器具費		1	式			別紙 00-0006
墜落制止用器具費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	仮囲鉄板 設置費, 撤去費, 運搬費, 維持管理 費共 30日	14	m			
ラフエレソクレーン運転 (油圧伸縮シブ型)	25t吊り しゃく付き 賃料 標準	5	日			
交通誘導員B		5	人			
計						